



# あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2007. 10月号

## 第7回公募写真展 10月28日(日)まで開催 ～未来に伝えよう、地域の自然と文化～

おかげさまで、第7回写真展の応募点数は過去最大の466点に達しました。その全作品を紹介する写真展を開催中です。会場で、あなたのおきのお一枚を見つけてみませんか。



写真:優秀賞 溪谷に棲む(小久保隆司)

展示では、撮影者が記したコメントが写真に添えられています。撮影時の苦労や工夫、写真の説明や意図など、様々な思いが綴られたコメントを読むことで、いっそう深く作品を味わっていただけたら幸いです。コメントからとくに感じるのは、美しい風景や趣のある伝統行事をいつまでも残してほしいという願いであり、被写体への愛情です。

また、点数は4点と少ないのですが、新設のビデオ部門にも注目です。工藤幹夫氏の「おとなと子どもの春まつり」は、出縄栗津神社の祭礼を準備から後片付けまで密着撮影した記録映像です。高橋登氏からは、金目川の桜がしみじみと語りかける「老木桜の独り言」、総合公園が舞台の「いつときのやすらぎ」、「須賀三嶋神社御祭禮」の3作品が届けられました。BGMやナレーションも入った本格的な映像作品の数々をお楽しみください。

このように、今回はコメントがあり、音も鳴っているのも、ちょっと賑やかな雰囲気の写真展になりました。どうぞ、じっくりご観覧ください。

# 大好き！ひらつか 発見！みんなのまち

現在、博物館で活動している団体が、湘南ケーブルネットワークで放送している平塚市広報番組「大好き！ひらつか」で紹介されています。番組は、「ひらつかNOW」「発見！みんなのまち」「いちおし情報」の3つのコーナーで構成されており、その中の「発見！みんなのまち」で、毎回、博物館の団体をひとつ取り上げて、活動風景が紹介されています。ぜひ、ご覧ください。(放送中の番組は、<http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/koho/tv.htm>からも視聴できます。)

番組名 平塚市広報番組「大好き！ひらつか(15分番組)」内「発見みんなのまち(5分程度)」

放送日程 月～金曜日 6:00～、12:30～、18:00～、22:30～

※水曜日は深夜2:00～の放送もあります。

土曜日 6:00～、18:00～、22:30～

日曜日 6:00～

番組日程

9月17日～30日 裏打ちの会 10月1日～14日 石仏を調べる会

10月15日～28日 博物館太鼓連

10月29日～11月11日 平塚の空襲と戦災を調べる会

11月12日～25日 古代生活実験室 11月26日～12月9日 天体観察会

12月10日～23日 古代生活実験室 1月7日～20日 相模川の生いたちを探る会

1月21日～2月3日 地域史研究ゼミ 2月4日～17日 博物館まつり

2月18日～3月2日 星を見る会 3月3日～16日 水辺の楽校生きもの調べの会

3月17日～30日 展示解説ボランティア



「水辺の楽校生きもの調べの会」の撮影の様子

## イブニング ミュージアム ウィーク

10月16日(火)～21日(日) 夜7時まで開館  
(入館は18:30まで)

<平塚ミニ講座>

4日連続で博物館学芸員による講座があります。

時間:17:30～18:30 場所:講堂 参加:自由

16日(火) 1「平塚の活断層」 担当:森 慎一

17日(水) 2「平塚の考古学史」 担当:明石 新

18日(木) 3「平塚の野の花」 担当:浜口 哲一

19日(金) 4「相模川の水運の歴史」 担当:早田 旅人

<天文の夕べ>

夜といえば星。星に関する話2題と、星を見る会があります。

19日(金) ～星を見る会～「月と秋の星たち」

月面の迫力あるクレーターと海を望遠鏡で眺めます。

時間:19:00～20:30 場所:博物館屋上 参加:自由(雨天・曇天時中止)

20日(土) ～天文講演会～「惑星を持つ星の条件」

講演:比田井昌英氏(東海大学教授)

時間:17:30～19:00 場所:プラネタリウム 参加:自由

21日(日) ～ミニ講座～「銀河鉄道と星」 担当:澤村 泰彦

時間:17:30～18:30 場所:プラネタリウム 参加:自由

「平塚ミニ講座」と  
「天文の夕べ」も  
併せて開催!!



## 「のぞいてみよう、原始の人々の暮らし —狩猟～稲作 そしてクニの成り立ち—」

今年の博物館学芸員実習では考古分野の展示を制作しました。寄贈品コーナーのスペースを縄文、弥生、古墳の3つの時代に大きく分け、それぞれの時代に平塚に住んでいた人々の暮らしで実際に使われていた資料を並べ、3つ



実習生の制作した展示

の時代の生活がわかるように、集落のイメージ画を描き、壁面に展示しました。絵の中には展示されている資料の使い方やその時代の特徴を描きました。ぜひ3枚の絵を見比べてみてください。

工夫した点は、難しい文字には仮名をつけたことと、絵で道具の使い方のイメージをつかみやすくしたこと。食糧を得る方法が移り変わるにつれ、集落のあり方が、ムラへ、そしてクニへと変化していき、また、用いる道具も変わっていく様子が、絵と資料からわかるように構成しました。

少し難しくなってしまったようにも感じますが、小学生から楽しむことができる展示を目指しました。多くの方が私たちの展示を見に、博物館に足を運んでいただけたら嬉しいです。(北里大学 仲居和美)

## 「平塚市博物館での実習を体験して」

9月5日～12日の1週間を通して私たちは平塚市博物館で学芸員実習をさせていただきました。大学の授業で博物館と学芸員の役割について学び、それを実習で活かそうと思っていました。しかし、私が学校で勉強して考えていたことと、実際の仕事の現場の間には大きな差があり、新しい発見や驚きがたくさんありました。

学芸員の負っている仕事には、収蔵庫の資料整理やデータをパソコンに入力する地道な作業もあれば、参加者と一緒に作り上げる野外活動もありました。他の博物館の年報や紀要の整理もおこないました。学芸員は研究だけでなく様々な仕事をこなさねばならず、それらの仕事があつて、博物館



館が成り立っていると思いました。

また、平塚市博物館で活動している、多くのサークルのうち、私は、裏打ちの会、古文書講読会、漂着物を拾う会の3つの会に参加しました。いずれのサークルも会員の方たちの学ぶ意欲が高く、活発に意見を闘わせていました。その知識の深さは私の知る範囲を越え、雰囲気にも圧倒されたりもしました。

平塚市博物館には、これからも、地域の方によりよい“学びの場”を提供して欲しいと思いました。場の提供という博物館の役割を間近に見ることができ、よい経験をさせていただいたと思います。(中央大学 船川顕子)

写真上)展示の構成を考える実習生 左)資料整理を行う実習生



## 考古学入門講座

遺跡に残された“モノ”を手がかりに、その時代の地域や社会を探ります。東海大学から3名の研究者を迎えた、全3回の連続講座です。定員80名。無料。参加希望の方は往復ハガキに住所、氏名、電話番号を記入のうえ、10月10日(水)必着で博物館までお申し込みください。

第1回 10月14日(日)

骨から見た考古学 講師:内山幸子氏

第2回 10月27日(土)

土から見た考古学 講師:松本建速氏

第3回 11月24日(土)

石から見た考古学 講師:柴田 徹氏

各回14:00～15:30 場所:博物館講堂

4	木	展示解説ボランティアの会	特研究室
5	金	古文書講読会	講堂
6	土	○ 自然観察ゼミナール 「自然観察リーダー入門」	野外
7	日	地質調査会	屋外
		平塚の古代を学ぶ会	講堂
		古代生活実験室	科学室
10	水	○ キノコ観察会	野外
11	木	石仏を調べる会	出縄
12	金	古文書講読会	講堂
13	土	地質調査会	特研究室
		◎ 漂着物を拾う会	虹ヶ浜・科学室
		○ 遺跡を歩く会	屋外
		天体観察会	屋上・科学室
14	日	水辺の楽校生きもの調べの会	屋外
		○ 考古学入門講座(第1回)	講堂
16	火	イブニングミュージアムウィーク (秋編) ~ 21日	博物館
17	水	裏打ちの会	科学室
	水	○ 民俗探訪会	野外
18	木	展示解説ボランティアの会	特研究室
19	金	古文書講読会	講堂
		◎ 星を見る会	屋上・科学室
20	土	博物館太鼓連	講堂
		星まつりを調べる会	野外
		○ 自然観察ゼミナール 「自然観察リーダー入門」	野外
21	日	相模川の生き立ちを探る会	西桂町
		◎ ろばたばなし	民家
25	木	○ 岡崎の石仏めぐり	岡崎
26	金	古文書講読会	講堂
27	土	地域史研究ゼミ	特研究室
		平塚の空襲と戦災を記録する会	特研究室
		○ 考古学入門講座(第2回)	講堂

1	木	☆ 寄贈品コーナー「地質」 ~ 1月25日	寄贈品コーナー
		展示解説ボランティアの会	特研究室
2	金	古文書講読会	講堂
4	日	地質調査会	屋外
		平塚の古代を学ぶ会	講堂
		古代生活実験室	科学室
8	木	石仏を調べる会	特研究室
9	金	古文書講読会	講堂
10	土	◎ 漂着物を拾う会	虹ヶ浜・科学室
		○ 遺跡を歩く会	屋外
		☆ プラネタリウム「フリートーク」~11/25	プラネ
11	日	○ 街の中の身近な自然探し	講堂・野外
15	木	展示解説ボランティアの会	特研究室
16	金	◎ 星を見る会	屋上・科学室
17	土	○ 自然観察ウォーキング	野外
		博物館太鼓連	講堂
18	日	相模川の生き立ちを探る会	藤野町高倉山
		◎ ろばたばなし	民家
21	水	裏打ちの会	科学室
		民俗探訪会	講堂
22	木	石仏を調べる会	特研究室
24	土	地質調査会	科学室
		地域史研究ゼミ	特研究室
		平塚の空襲と戦災を記録する会	特研究室
		○ 考古学入門講座(第3回)	講堂
		星まつりを調べる会	特研究室
		天体観察会	屋上・科学室
25	日	水辺の楽校生きもの調べの会	屋外
		◎ プラネタリウムで宇宙を学ぶ会	プラネ
		天体観察会	科学室

☆: 展示、プラネタリウム ○: 申込制 ◎自由参加 無印: 年間会員制

### <展示とプラネタリウム>

- ☆第7回公募写真展(1p参照)
- ☆寄贈品コーナー「博物館実習生制作展示」(3p参照)
- ☆プラネタリウム 全天周デジタルビデオ「銀河鉄道の夜」  
 投影日: ~11月4日(日)の土、日曜日と祝日(10月8日(月))  
 観覧料: 100円(中学生以下無料)(美術館の宮沢賢治展チケットの観覧券でご利用になれます)  
 午前10時、11時、午後1時、2時、3時の5回  
 投影時間: 約30分(午前11時と午後2時の回は、当日の星空解説も行ないますので、投影時間は50分となります。)  
 定員: 各回70人

### <参加者募集>

- ◎漂着物を拾う会  
 日時: 10月13日(土)午前9時30分~11時  
 場所: 平塚虹ヶ浜海岸  
 参加: 自由(初めてのの方は往復はがきで申し込んで下さい)
- ◎ろばたばなし  
 日時: 10月21日(日)(1)午後1時20分~ (2)午後3時~  
 場所: 展示室民家 参加: 自由
- ◎星を見る会「月と秋の星たち」  
 日時: 10月19日(金)午後7時~8時30分  
 場所: 博物館屋上  
 参加: 自由(雨天・曇天時は中止)

- 自然観察ゼミナール「キノコ観察会」  
 日時: 10月10日(水)午前10時~午後3時  
 場所: 吉沢霧降の滝  
 参加: 往復はがきに住所・氏名・電話番号を記入して10月4日必着で申込。定員20人。
  - 街の中の身近な自然探し  
 今回は「コケ」がテーマです。  
 日時: 11月11日(日)午前10時~午後3時  
 場所: 博物館~八幡山公園  
 参加: 往復はがきに住所・氏名・電話番号を記入して10月30日必着で申込。定員15人。
  - 自然観察ウォーキング  
 日時: 11月17日(土)午前9時30分~午後3時(雨天時中止)  
 場所: 土屋地区  
 参加: 往復はがきに住所・氏名・電話番号を記入して11月1日必着で申込。定員30人。
  - 岡崎の石仏めぐり  
 日時: 10月25日(木)午前10時~午後3時(雨天時順延)  
 場所: 岡崎地区  
 参加: 往復はがきに住所・氏名・電話番号を記入して10月16日必着で申込。定員20人。
  - 第4回遺跡を歩く会  
 日時: 11月10日(土)  
 場所: 四之宮地区  
 参加: 往復はがきに住所・氏名・電話番号を記入して10月30日必着で申込。定員30人。
- ※2階情報コーナーで、夏期特別展「平塚の地盤と活断層」の一部を展示しています。~10月28日

あなたと博物館 35巻7号 通算370号 発行 平塚市博物館 2200  
 〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel:0463-33-5111 Fax:0463-31-3949  
 E-Mail: info07@city.hirasuka.kanagawa.jp ホームページ <http://www.hirahaku.jp/>